

由布岳～雪山を満喫して～

【報告者】畑農

【日時】2008年2月3日

【天候】曇り

【参加者】塩崎・畑農

コースタイム

10:00本登山口 11:00日向越 12:35東峰 13:15西峰

14:00東峰・西峰分岐 14:45日向越 15:35本登山口

報告

まさしく雪山！で今季一番の積雪を楽しめた。

一週間前の久住の積雪からして期待していなかっただけにびっくり。日田からの高速が凍結のためにまさかの通行止めで下道を通り、最後10分程だったがチェーンを装着する羽目になった。

予定の東登山口まで車で行くことをあきらめ、本登山口に駐車し東尾根を目指すことにした。まさかこの雪とは思わず6本爪アイゼンを持参、こんな時こそ今年購入した12本爪アイゼンの威力発揮なのにと悔やまれたが遅し。岩場のお鉢巡りにピッケルは邪魔だとこれも持参しなかったのも悔やまれた。

動物らしい足跡しかない日向越までの雪道1時間程は、ふわふわの歩き心地で元気に歩けた。がその後俄然ペースダウンし、塩崎さんに先頭を譲り自分のスローペースで歩くことにした。途中で待っていてくれた塩崎さんに合流すると、東峰へ向けて岩場にさしかかった。凍った岩の上ではツルツル滑りつま先のひっかかりが効かず、ここでアイゼンを装着した。6本爪とはいえ、途端に岩場に食いつく感じで今度は簡単によじ登ることが出来た。

ようやく山頂に到着すると2,3のグループに出会う程度の登山者で、西峰まで到ったのは私らが初めてのようだった。雪のお鉢巡りの醍醐味が楽しめる！という塩崎さんの言葉に期待していざ出発。最初は埋もれた灌木の合間の下り道。膝上までふわふわの雪に埋もれ、雪を崩しながら滑るようにして進む。ああ、なんていう気持ちよさ！と思ったのはつかの間で、今度は岩場らしい登りにさしかかる。雪が積もり岩の外観が分かるだけ。足を踏み込んでもズボズボとのめり込み、ズルズルと滑り落ちるだけで足の確保が上手くいかない。雪を払いのけて岩の足場を確かめたり、両腕を雪の中につっこみ必死に岩や木を掴んだりと全身をフルに使って何とか前進を続けた。反対からまわってきた登山者と出会ったところで、東峰に到着。約1時間半の雪との格闘はあつという間の気もしたが、いかに雪山で体力を消耗するか身を持って実感した。最後はバテバテだったけど、雪山を存分に満喫できて楽しかった。